

主催：公立大学法人 福島県立医科大学

共催：福島県

日本学術会議臨床医学委員会放射線防護・リスクマネジメント分科会

放射線健康リスク管理 福島国際学術会議

国内外の専門家から、
放射線の健康リスクに関して
福島での取組みや世界の研究成果を報告いただき、
学術的な議論を行います。

日時

平成25年2月25日(月)～27日(水)
(初日開場 7:30)

会場

福島ビューホテル西館3階
〒960-8068 福島県福島市太田町13-73
使用言語 英語 (通訳なし)
(参加費無料)

お申し込み方法

下記 URL より、お申込みください。(定員になり次第受付終了)

<http://www.fmu.ac.jp/radiationhealth/conference/index.html>

事務局

福島県立医科大学 ふくしま国際医療科学センター
放射線医学県民健康管理センター 国際連携部門

電話：024-573-1501

Email: kenkani@fmu.ac.jp

「放射線健康リスク管理福島国際学術会議」プログラム

平成 25 年 2 月 25 日 (月)

開会の挨拶 (8:30 – 9:00)

- 8:30 – 8:40 菊地 臣一 (福島県立医科大学理事長兼学長)
8:40 – 8:50 笹川 陽平 (日本財団会長)
8:50 – 9:00 秋野 公造 (環境大臣政務官)

基調講演 (9:00 – 9:15)

- 9:00 – 9:15 棟方 充 (福島県立医科大学理事兼病院長)

セッション 1 : 福島原発事故初期医療対応と課題 (9:15 – 10:05)

- 座長 前川 和彦 (東京大学名誉教授)
フレッド・メトラー (ニューメキシコ大学医学部教授)
9:15 – 9:40 谷川 攻一 (広島大学医歯薬保健学研究院教授)
9:40 – 10:05 長谷川 有史 (福島県立医科大学救急医療学講座助教)

セッション 2 : 県民健康管理調査事業の進捗状況 (10:05 – 12:35)

- 座長 山下 俊一 (福島県立医科大学副学長)
クリストファー・クレメント (国際放射線防護委員会事務局長)
10:05 – 10:30 安村 誠司 (福島県立医科大学公衆衛生学講座教授)
10:30 – 10:55 大津留 晶 (福島県立医科大学放射線健康管理学講座教授)
10:55 – 11:20 鈴木 眞一 (福島県立医科大学器官制御外科学講座教授)
11:20 – 11:45 細矢 光亮 (福島県立医科大学小児科学講座教授)
11:45 – 12:10 藤森 敬也 (福島県立医科大学産科婦人科学講座教授)
12:10 – 12:35 矢部 博興 (福島県立医科大学神経精神医学講座教授)
12:35 – 13:30 休 憩

セッション 3 : 国内機関の福島への取り組み (13:30 – 15:30)

- 座長 神田 玲子 (放射線医学総合研究所放射線防護研究センター
運営企画ユニット長)
アンドレ・ブーヴィル (元国立癌研究所放射線疫学部コンサル
タント)
13:30 – 13:50 高村 昇 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授)
13:50 – 14:10 明石 真言 (放射線医学総合研究所理事)

- 14:10 – 14:30 柏倉 幾郎 (弘前大学被ばく医療総合研究所長)
14:30 – 14:50 赤羽 恵一 (放射線医学総合研究所医療被ばく研究推進室)
14:50 – 15:10 神谷 研二 (広島大学原爆放射線医科学研究所長、福島県立医
科大学副学長)
15:10 – 15:30 児玉 和紀 (放射線影響研究所主席研究員)

15:30 – 15:50 休 憩

セッション4 : 国内大学等の福島への取り組み (15:50 – 18:10)

- 座長 大久保 利晃 (放射線影響研究所理事長)
ジョン・ボイス (国際放射線防護委員会主委員会委員)
15:50 – 16:10 松本 智裕 (京都大学放射線生物研究センター長)
16:10 – 16:30 安田 仲宏 (福井大学附属国際原子力工学研究所教授)
16:30 – 16:50 柿内 秀樹 (環境科学技術研究所環境影響研究部)
16:50 – 17:10 志水 隆一 (日本学術振興会)
17:10 – 17:30 高橋 隆行 (福島大学副学長)
17:30 – 17:50 星 北斗 (星総合病院理事長)
17:50 – 18:10 佐々木 康人 (日本学術会議連携会員)

平成 25 年 2 月 26 日 (火)

基調講演 (9:00 – 9:40)

9:00 – 9:40 アベル・ゴンザレス (連邦科学技術委員会、国際放射線防護委員会主委員会副委員長)

セッション 5 : 国際機関の福島震災対応 (9:40 – 12:00)

座長 佐々木 康人 (日本学術会議連携会員)

ハーヨ・ツェーブ (ブレーメン大学予防研究・社会医学研究所
予防・評価部長)

9:40 – 10:10 エレーナ・ブグロワ (国際原子力機関事故・緊急センター長)

10:10 – 10:40 ジャナット・カー (世界保健機関公衆衛生・環境部放射線環境
衛生ユニット)

10:40 – 11:00 休 憩

11:00 – 11:30 クリストファー・クレメント (国際放射線防護委員会事務局長)

11:30 – 12:00 ウォルフガング・ヴァイス (連邦放射線防護庁放射線防護・保
健部長)

12:00 – 13:00 休 憩

セッション 6 : チェルノブイリの経験 (13:00 – 15:50)

座長 遠藤 啓吾 (京都医療科学大学学長)

ウラジミール・サエンコ (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
准教授)

13:00 – 13:30 ワレンチナ・ドロツツ (ベラルーシ卒後教育医学アカデミー教
授)

13:30 – 14:00 ディミトリー・バジーカ (ウクライナ放射線医学研究所教授)

14:00 – 14:30 ヴィクトル・イワノフ (保健・社会発展省医学放射線研究所副
所長)

14:30 – 15:00 ミハイル・バロノフ (ロシア放射線衛生研究所教授)

15:00 – 15:30 イブリン・ブロメット (ストーニーブルック州立大学精神医
学・行動科学科教授)

15:30 – 15:50 休 憩

セッション7：科学と価値、コミュニケーションに関する世界の経験 (15:50 – 17:50)

- 座長 唐木 英明 (倉敷芸術科学大学学長)
ウオルフガング・ヴァイス (連邦放射線防護庁放射線防護・保健部長)
- 15:50 – 16:20 クリストフ・ライナーズ (ビュルツブルグ大学病院)
- 16:20 – 16:50 アンドレ・ブーヴィル (元国立癌研究所放射線疫学部コンサルタント)
- 16:50 – 17:20 ジョン・ハリソン (イギリス健康保護局放射線・化学・環境ハザードセンター次長)
- 17:20 – 17:50 ジャック・ロシャール (国際放射線防護委員会主委員会委員)

セッション8：総合討論—科学と責任 (17:50 – 18:50)

- 座長 酒井 一夫 (放射線医学総合研究所放射線防護研究センター長)
- フレッド・メトラー (ニューメキシコ大学医学部教授)
- 演者 ジョン・ハリソン (イギリス健康保護局放射線・化学・環境ハザードセンター次長)
- ミハイル・バロノフ (ロシア放射線衛生研究所教授)
- ディミトリー・バジーカ (ウクライナ放射線医学研究所教授)
- イブリン・ブロメット (ストーニーブルック州立大学精神医学・行動科学科教授)

平成 25 年 2 月 27 日 (水)

基調講演 (9:00 – 9:40)

9:00 – 9:40 長瀧重信 (長崎大学名誉教授)

セッション 9 : 放射線健康リスク管理 (9:40 – 11:40)

座長 神谷 研二 (広島大学原爆放射線医科学研究所長、福島県立医科大学副学長)

エレナ・ブグロワ (国際原子力機関事故・緊急センター長)

9:40 – 10:10 フレッド・メトラー (ニューメキシコ大学医学部教授)

10:10 – 10:40 ハーヨ・ツェーブ (ブレーメン大学予防研究・社会医学研究所
予防・評価部長)

10:40 – 11:10 ジョン・ボイス (国際放射線防護委員会主委員会委員)

11:10 – 11:40 レティ・チェム (国際原子力機関ヒューマンヘルス部長)

最終討論—福島の教訓と将来の取り組みへの提言 (11:40 – 12:40)

演者 山下 俊一 (福島県立医科大学副学長)

丹羽 太貫 (福島県立医科大学特命教授)

ジョン・ボイス (国際放射線防護委員会主委員会委員)

アベル・ゴンザレス (国際放射線防護委員会主委員会副委員長)

フレッド・メトラー (ニューメキシコ大学医学部教授)

閉会の挨拶 (12:40 – 12:50)

12:40 – 12:50 阿部 正文 (福島県立医科大学理事兼副学長)

※ このプログラムは事情により変更になる場合があります。予め、ご了承ください。